

児童発達支援 事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和6年 3月 1日

事業所名 スタジオそら北沢

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係が適切であるか	7	0	訓練スペースを適切に使用できるよう予約人数を調整し、十分なスペースを確保して活動を行っています。	引き続き、支援の充実を図ります。
	② 職員の配置数は適切であるか	6	1	法令上の配置数は満たしています。スタジオ内での調整の他、本社や他スタジオとも連携を図りながら適切な支援が可能な職員数が配置できるよう調整	引き続き、支援の充実を図ります。
	③ 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっている。また、障害特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	6	1	建物の構造上完全なバリアフリー化はできませんが、手すりを付けるなどの配慮はしています。また、絵カードやイラストなどを用いて室内の動線を構造化しています。	可能な限り構造化を進めています。
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間になっている。	6	1	玄関入口、廊下・回廊上定期清掃や使用物品の消毒を行い、清潔な空間を維持するよう努めています。また、月に一回チェックを行っています。お子様の活動に合わせてスペースの活用方法を都度職員間で打ち合わせしています。	引き続き、支援の充実を図ります。
適切な支援の内容	⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に広く職員が参画している	5	2	会議の日程を決め、多くの職員が参画できるようにしています。	引き続き、支援の充実を図ります。
	⑥ 保護者向け評価表により、保護者に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善に繋げている	7	0	頂いたご意見を参考に改善を行っております。待合室の方に面談シートの設置等随時対応しています。	引き続き、支援の充実を図ります。
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7	0	HP上での掲載を行っています。	引き続き、支援の充実を図ります。
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	7		第三者評価は行っていません。今後必要に応じて検討していきます。
	⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7	0	定期的な研修を行い、職員の専門性の向上に努めています。	引き続き、支援の充実を図ります。
業務改善	⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	7	0	ケース会議の日程を事前に決め、アセスメントの結果を基にお子様や保護者のニーズも含めて支援の方向性を話し合う場を設けています。	引き続き、支援の充実を図ります。
	⑪ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7	0	アセスメントツールを使用し、個別支援計画の参考にしていきます。	引き続き、支援の充実を図ります。
	⑫ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	6	1	ガイドラインの読み合わせや確認を行い、それを基にケース会議等で支援内容についての話し合いをしています。	引き続き、支援の充実を図ります。
	⑬ 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	7	0	朝礼・昼礼・終礼で情報の共有を行い、個別支援計画を確認の上、プログラム作成を行っています。	引き続き、支援の充実を図ります。
	⑭ 活動プログラムの立案をチームで行っている	5	2	お子様を担当する職員が主体となって立案をしていますが、適宜チーム全体で活動プログラムの共有や立案を行う場合もあります。	引き続き、支援の充実を図ります。
	⑮ 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7	0	職員間で直近の活動内容について情報共有をし、お子様が常々楽しく活動できるようプログラムの作成を行っています。	引き続き、支援の充実を図ります。
	⑯ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	7	0	ケース会議を行い、お子様の状況や必要性に応じた支援計画の作成を行っています。	引き続き、支援の充実を図ります。
	⑰ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7	0	・毎日朝・昼に打ち合わせを実施しています。 ・その日いらっしゃるお子様の最近の様子を含め、情報共有をしています。	引き続き、支援の充実を図ります。

	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7	0	終礼を行い、業務報告や共有事項の確認を行っています。	引き続き、支援の充実を図ります。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7	0	支援実施後にサービス提供記録をとっています。また記載しきれない範囲の様子等については朝礼・昼礼・終礼の中で、細かい支援内容の共有も行っています。	引き続き、支援の充実を図ります。
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	7	0	最低6か月ごとにモニタリングを実施し、必要に応じて随時行っています。	引き続き、支援の充実を図ります。
関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6	1	主に児童発達支援管理責任者が参加しています。その際事前に直近のお子様の様子について各職員からの情報共有の機会を設ける等、お子様の状況を適切に把握することに努めています。	今後は適宜直接支援に当たっている職員も参加できるように調整していきます。
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	5	2	必要に応じて各関係機関との連携を図っています。	今後も必要に応じて連携を図っていきます。
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	0	7		受け入れをしていません。
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	0	7		受け入れをしていません。
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6	1	必要に応じて連携を図っています。	必要に応じて連携を図っていきます。
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5	2	必要に応じて出席状況や活動内容の共有を行っています	必要に応じて連携を図っていきます。
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	7	0	必要に応じて他の児童発達支援事業所との連携を図ることや、研修の受講をしています。	今後も必要に応じて連携を図っていきます。
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	0	7		必要に応じて連携を図っていきます。
	㉙	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	0	7		必要に応じて参加できるように調整を行っていきます。
	㉚	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7	0	活動後のフィードバック、定期面談、電話・メールにて家庭や学校での様子などを確認し連携を図っています。	必要に応じて連携を図っていきます。
	㉛	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	2	5		研修を行い、スキルの向上を図り、実施していけるように努めています。
保護者への説明責任等	㉜	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7	0	契約や変更があった際に説明を行っています。	引き続き、丁寧な説明に努めていきます。
	㉝	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	7	0	支援計画の内容はお子様の発達に合わせて定期的に更新し、その際は保護者様との面談を経て同意を得た上で施行しています。	引き続き、支援の充実を図ります。
	㉞	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7	0	定期面談や活動後のフィードバックの際に行っています。	その他にも相談を受け付けるための時間を確保できるように、面談希望票を設置し、機会の充実を図っております。
	㉟	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	7		必要に応じて保護者会の実施を検討します。
	㊱	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	7	0	相談があった際は特に迅速に対応できるように努めています。	今後も相談しやすい関係性・環境作りに努め、相談や申し入れに対して適切に対応していきます。
	㊲	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7	0	ホームページにてそら通信の更新を行なっています。また定期送付物にも会報を添付しております。スタジオ毎のお知らせは待合スペースの掲示板で発信しています。	引き続き、支援の充実を図ります。

	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意している	7	0	書類管理は鍵付きの書庫を使用しています。メールの誤送信防止ソフトを導入し、誤送信への対策を講じています。	人の出入りの多い待合スペースでのフィードバックを原則廃止し、個別で行えるように場所を分けて行っています。引き続き、個人情報の取り扱いに細心の注意を払っていきます。
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7	0	活動後のフィードバックの場所と、お子様が待機する場所を分ける分けることでニーズや状況の聞き取りなどの意思疎通を行いやすい環境を整えています。	引き続き、支援の充実を図ります。
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	7	感染症予防の観点から現在は地域交流の行事を控えています	状況に応じて、実施できるように検討していきます。
非常時の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	7	0	マニュアルの策定は行っています。内容について職員へは研修を通じて周知し、保護者様へは待合スペースの掲示や冊子の設置によって周知を行っています。	引き続き、マニュアルの内容に変更の必要が生じた場合には、都度周知を行っていきます。
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7	0	地震や火災を想定した訓練を年二回以上行なっています。訓練実施の際は保護者様に周知し、訓練への参加、ご協力を呼び掛けていきます。	内容について保護者に周知し、訓練への参加を呼び掛けていきます。
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	7	0	お子様の情報が記載されたフェイスシートを年度ごとに更新し、正確な状況の把握に努めています。	随時コミュニケーションを取り、状況の変化にも対応していきます。
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	7	0	今年度は感染症予防の観点から食育を実施しませんでした。	実施する場合には事前に情報確認を行い、医師の指示に基づいて細心の注意を払っていきます。
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7	0	昼礼や終礼の際にその日のヒヤリハット事例を全体で共有し、その後報告書の作成、周知を行なっています。	定期的に事例検討などの研修を行い、安全管理を徹底していきます。
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7	0	研修を実施し、適切な対応方法を学んでいます。	定期的に事例検討などの研修を行い、安全管理を徹底していきます。
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	7	0	契約時にやむを得ず身体拘束を行なう場合について説明を行なっています。	定期的に事例検討などの研修を行い、適切に対応できるよう努めていきます。

この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。